

# みんなとみらいのオープンイノベーションに向けたFMの取組み

みなとみらいイノベーションセンターの

**コンセプト** (拠点のありたい姿)

Minato MIRAI Innovation Center

## みんなとみらいの成長エンジン

Growth engine for everyone & the future



A.人を活かす・エンゲージメント向上

イノベーション創出  
成長する組織

B.魅力度UP(ブランディング)

地域みんなの顔  
来たくなる場

C.運営維持のスマート化

みらいの運営維持

2020年12月に村田製作所は、神奈川県横浜市に東の研究開発一大拠点として、注力・期待市場のR&D・マーケティング・人材獲得を行うという戦略のもとみなとみらいイノベーションセンター(MMIC)を新設しました。

- ・当社、村田製作所に関わる全ての人(みんな)とともに未来(みらい)を拓く
- ・ここに集まるアイデアや情報を燃料に、文化・社会の発展(成長)のための原動力(エンジン)になるという想いを込めてありたい姿を定め取組みました。その結果、大きく3つの取組みとなったものです。



2017

2018

2019

2020

2021

2022

建設PJによる取組

2020年12月～ 運用

基本・実施設計

工事期間

▲2020年10月竣工



A.人を活かす・エンゲージメント向上

イノベーション創出、成長する組織

オフィス検討分科会

トップメッセージを実現するためのPJ検討会

オフィスコミッティ

オフィス構築に込めた当初の思いを風化させない  
入居者にて自走する 自律分散型組織での取組み

自走する取組み

B.魅力度UP(ブランディング)

地域みんなの顔、来たくなる場

賑わい施設ワーキンググループ

構想設計、  
運用管理体制確立



見学受入開始  
エンジニアの卵が生まれる  
きっかけの場を提供

施設活用の取組



C.運営維持のスマート化

みらいの運営維持

人(施設利用者、管理者)に  
やさしい、施設管理

施設運用管理 検討

施設運用管理最適化の取組

IoT活用

メーターの読みを無くすことによる メンテナンスの省力化

遠隔サポート

エネルギーデータ解析による省エネ

データ活用

予防保全のための 故障・トラブル・クレーム履歴の活用



# 人を活かす・エンゲージメント向上 & 魅力度アップ(ブランディング)

## A.人を活かす・エンゲージメント向上 イノベーション創出、成長する組織

オフィスコミッティ)

建設時に発足させたオフィス検討分科会により、ABWやフリーアドレスを取り入れた先進的なオフィスを構築。入居後も、自治組織としてオフィスコミッティを立上げ、**自律分散型人材の育成や、偶発的なコミュニケーション**が生まれるオフィスの実現と定着を目指し、継続的にチャレンジしています。

拠点長

MM オフィスコミッティ

委員

事務局

各フロア

管理部

### 【オフィスコミッティ活動の目的】

- **オフィスコンセプトの実現・定着**
- **オフィス満足度の向上**
- **MMICオフィスの情報発信**



ライトアップイベント)

FM管理部門の声掛けで、コロナ禍に入社してきた新入社員がクリスマスのライトアップイベントを企画。**事業所内の交流を促進し、成功体験を積んでもらう恒例行事として継続しています。**



共創パートナー)

**オープンイノベーション**を行うための、研究・実験・試作をワンストップで行える場を構築。イノベーションの具体化、スピードアップを実現しています。



## B.魅力度UP(ブランディング) 地域みんなの顔、来たくなる場

1,2Fにアクティビティフロア(にぎわいを創出する空間)として、「Mulabo! (ムラーボ!)」を設置し、**地域みんなの顔**として、開かれた場を提供しています。

**mulabo!**  
ムラーボ!

“エンジニアの **卵** が生まれるきっかけの場”をコンセプトとし、

事業活動と紐づいた「科学」をテーマにSTEAM※教育・文化の発展に寄与しています。

※1: Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、liberal Arts(創造性教育)、Mathematics(数学)からなる教育分野の総称



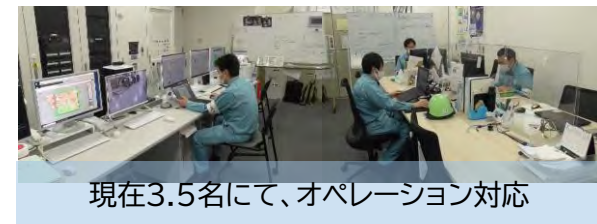
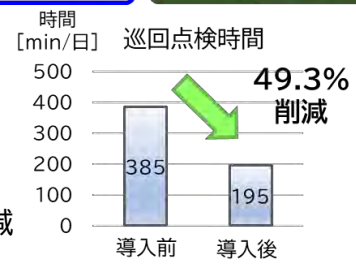
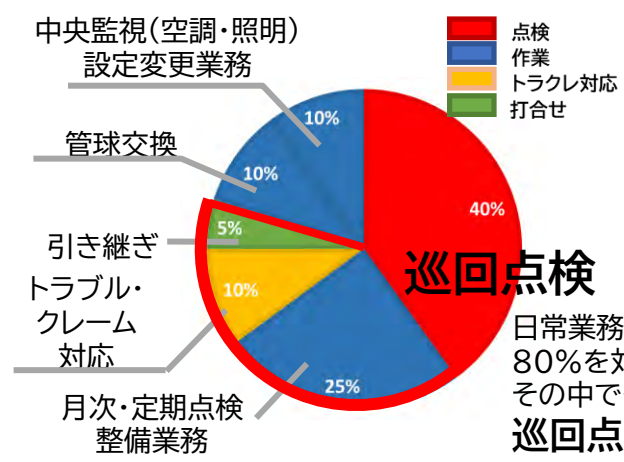
累計来場者数  
**17,711人**

2020年12月16日  
～22年7月31日までの累計

# 将来を見据えた“みらいの運営維持”

**C. 運営維持のスマート化** 人(施設利用者、管理者)に  
みらいの運営維持 やさしい、施設管理

## メンテナンス作業の時間分析



**広域でのIoT活用/DX加速**

みなとみらい 設備管理業務 遠隔サポート

IoT活用 クラウド

1 拠点から広域にIoT活用を広げて定型・特殊な設備保守業務の一元化、遠隔サポートによる業務プロセスの変革



ありたい姿；点検作業時間ゼロを目指し高度化することで、LCM (ソリューション) 時間を増やし高質化する ⇒ 品質・財務・供給の視点で最適解の提案を行い経営に貢献する



何を	どうする
ファシリティの効果 (資産の活用)	最大化
ファシリティに対する満足度 (ES・CS)	向上
ファシリティの耐用年数	長寿命化
ライフサイクルコスト	最適化
エネルギー消費・環境負荷	最小化
安全・防災等のリスク	最小化

リアルタイム & 過去データ活用 + 自動出力

タイムリーな分析・報告を実施

省CO2・省エネ エネルギーコスト削減に注力する時間を確保